2026年度 SCC 活動計画

【　建学の精神　】
行学一体・報恩感謝

【参考】

地域における大学の主な４つの役割

① 地域における人材育成機関としての役割
② 地域におけるイノベーションや価値創造の担い手としての役割
③ 地域の文化や歴史を発展・継承する役割
④ 地域における知と人材のハブとしての役割

「これからの時代の地域における大学の在り方について－地方の活性化と地域の中核となる大学の実現－」(審議まとめ)

理　念

本学が有する資源を活用し、地域団体、企業大学行政機関等との連携活動及び社会連携に係る教育研究を推進及び支援し、生涯学習社会の形成に向けた活動を展開することによって、本学の社会貢献を推進することを目的とする。「社会連携センター規程　第3条」

目　標

愛知学院大学社会連携センターは本学の教育と研究を基盤とした社会・地域連携を推進するため、以下の目標の実現に向けて活動する。

① 社会課題と向き合う実践的教育や社会貢献の場における教育活動を支援する。
② 社会・地域における課題解決やイノベーションを創出する活動を支援する。
③ リスキリングや教養を深めるための、世代を超えた学びの機会を提供する。
④ 地域の文化や歴史の発展・継承に寄与する。
⑤ 知と人の交流拠点としての役割を推進する。

活動内容

愛知学院大学社会連携センターは、以下の内容にもとづき活動する。

❶ 社会連携に係る教育活動の推進及び支援
❷ 学生の社会貢献活動に対する支援
❸ 社会連携に係る研究の推進及び調整
❹ 社会連携に係る事業の企画、調整、実施及び支援
❺ 生涯学習に係る講座等の開催及び諸活動の支援
❻ 地域社会の諸活動に対する専門的な支援
❼ 社会連携に係る情報の収集及び発信
❽ その他、以上の目的を達成するために必要な事業の実施　「社会連携センター規程　第4条」

活動指標 1

社会連携センターにおける社会・地域連携活動の実績について年間70件以上の発信を目指す
＜目標　①＞

活動指標 2

自治体・産業界から年間75件以上の受託事業・受託研究、共同研究、連携事業等の獲得を目指す
＜目標　②＞

活動指標 3

年間75講座以上の公開講座開催を目指す（共催を含む）
＜目標　③＞

活動指標 4

履修証明プログラムについてトータル年間20名以上の認定者数を目指す
＜目標　③・④＞

活動指標 5

協定を締結する地公体や企業団体等との連携活動の発信について年間30件以上を目指す
＜目標　⑤＞

アウトカム指標１・２　＜目標　①・③・④＞

1.開催した講座等の募集定員に対する実受講者数について80％以上を目指す
2.公開講座等の受講満足度（5段階）について、平均値4以上を目指す

アウトカム指標３・４　＜目標　②・⑤＞

3.SCC主催･共催の連携事業について、学生の参画人数(延べ)350名以上を目指す
4.地域貢献活動への意識向上について、70％以上を目指す